

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和元年7月8日

事業所名 さくらくらぶ中百舌鳥

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	児童の動線に合わせて、机やパーテーションを使用している。	
	2	職員の配置数は適切である	4	1	送迎時、若干手薄に感じることがあり、シフト作成時に適切になるようにしている。	利用児童の下校時刻や帰宅時間の変更にあわせてシフトの変更を行う。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1		建物の構造上、玄関前、トイレ前に段差があり、引き続き注意していく。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	0		全員参画しているが、各人の積極性、主体性を伸ばす必要がある。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	保護者の意見を参考に見直しができるので、とてもありがたい。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	毎年保護者にアンケートを配布し、ホームページに掲載している。	今後も継続していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	4	法人内の他事業所管理者による業務改善に向けた評価を行っている。	外部評価については今後の検討課題。
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	外部講師による研修や外部研修への参加を促している。	研修への参加は出来るようになってきているがまだ各人の専門性を伸ばす必要がある。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	忙しい中保護者に時間をとってもらい、意向確認を行っている。	両親ともに働きに行かれているご家庭や諸事情により日中時間をとることが難しくなってきたため、早め早めに声をかけ時間をとってもらおうよう工夫していく必要がある。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	担当者を決め、担当者を中心に内容を変化させている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1	季節や情勢に合わせたイベントや外出を行っている。	通常プログラムが固定化されているので、改定を検討中。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0		活動時間に応じた設定を行っているが、まだ不十分と感じている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	複数人数での制作活動がメインになるが、個々の発達に合わせた制作過程を踏んでいる。	保護者の意向も組みながら、都度対応していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	開始時に朝礼を行い、前日の引継ぎ事項等確認し、当日利用児童の配慮点等を確認している。	今後も継続していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	終了時に終礼を行い、翌日への引継ぎ事項に不備がないようにしている。	今後も継続していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	利用児童、時間、活動の様子及び伝達事項を日報に記入し、全員が確認している。	今後も継続していく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	半年毎に懇談を行っているが、子どもの状況により、随時計画の見直しを行っている。	両親ともに働きに行かれているご家庭や諸事情により日中時間をとることが難しくなってきたため、早め早めに声をかけ時間をとってもらおうよう工夫していく。
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	0			
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0		相談支援事業所発信の担当者会議へは、確実に参画出来ているが、小さな問題提起を共有することが難しく、事業所からの発信も積極的にやっていく。	

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5	0	直接連絡を取らせて頂いている 学校との関係は良好。 とてもありがたく感じている。	直接連絡を取ることが出来ず、保護者経由での対応をされる学校がある。学校の業務量を考えると難しい所ではあると思うが、子どもの支援について共有出来るようになってほしい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	5		該当児童なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	0	5	保護者より詳細をお伺いしている。	ご依頼があれば、いつでも共有したい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	5	保護者への伝達を行っている。	ご依頼があれば、いつでも共有したい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	5	地域行事への参加をしている。	障がいを持たない団体との交流は、双方の理解がないと難しいため、行っていない。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	3	2		堺市放課後連絡会への参加を継続。 自立支援協議会の児童分野が出来ることを期待している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	連絡帳に文章では伝わりにくい 子どもの表情等を簡易な写真を添付して補っている。	連絡帳の写真は今後も継続。 利用の前日にはお電話もしくはメール等で時間や子どもの状態を確認したく、保護者に連絡を取らせてもらっている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	0		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	見学から契約までに詳細を出来る限りお伝えしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	可能な限り、連絡を取ることが出来るよう配慮している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	5	年に2～3回、保護者も参加出来る研修会を開いている。	今後保護者の意見を参考に保護者会の開催は検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	保護者からの依頼事項について漏れることなく引き継がれるよう全員で共有している。	今後も継続していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	毎月、翌月の予定、伝達事項、活動の様子を入れたおたよりを発行。それ以外にも、ホームページにてブログを毎週水曜日に更新し	今後も継続していく。
	35	個人情報に十分注意している	5	0	契約時にどこまで公開しているか書面にて確認をとっている。	定期的に公開の制限の表を見直し、漏れないよう今後も確認していく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	子どもたちの成長に合わせて対応に変化を持たせている。	保護者の意向も組みながら、都度対応していく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5		障がいに対する理解を求めることが難しく行っていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0		職員への周知徹底は済んでいるが、保護者への伝達が不十分な点があり、おたより等で周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0		今後も継続していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0		今後も継続していく。 課題を決めた短時間での研修も検討中。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0		現在該当児童がいないが、身体拘束を行う場合の対応については理解している。

応	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1	医師と直接連絡を取ることはなく保護者にかかりつけ医や、アレルギーの有無について聞き取りを行っている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	毎日記入する日報に、ひやりとした瞬間を記入し、全員確認している。	今後も継続していく。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和元年7月8日

事業所名 さくらくらぶ中百舌鳥 保護者等数（児童数） 37 回収数 31 割合 83 %

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	24	5	0	2	日によって大きな子が多いと、手狭になるかもしれない。	広めのスペースですが、高学年の子が多いときは手狭に感じるかもしれません。児童の動線、状況に合わせて机を移動させる等の工夫をしたいと思います。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	22	2	0	7	一部疑問を感じる時もあるが指導されていると思う。	研修会への参加や外部講師による講義を行い、スキルアップに努めます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	21	1	0	9		建物の構造上、4か所段差があります。年少児及び可動域の狭い児童が移動する際には、必ず手を添えています。今後も引き続き注意していきます。
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	30	1	0	0		懇談にはいつもお越しくださりありがとうございます。引き続き児童の発達に応じた支援を行っていきたく思います。お気づきの点がございましたらいつでもお知らせください。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	24	4	1	2	外遊びや外出、プールなど体を使った楽しみも引き続き機会を増やしてもらえると嬉しい。工作だけでなく何か他のことも取り入れてほしい。	制作活動がメインの事業所ではありませんが、季節折々の感覚を体感するために外出等しております。長期休暇等には、違ったアプローチの仕方を検討していきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7	7	4	13	あまり他の人と関わりたくないのでもない。知られたくないこともある。そもそも求めている。	なかなか難しい所ですが、地域行事等への参加をしながらすすめていきたいと思います。
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	31	0	0	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	30	1	0	0		利用の前日にはお電話もしくはメール等で時間やお子さまの状態をお伺いしていますが、引き続きご協力お願いいたします。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	30	1	0	0		特にご利用時には当日の状況を詳しくお伝えできるよう工夫していきます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12	4	5	10	あったかもしれないが不参加。あると思うがあまり行けていない。	今後保護者様の意見を参考に保護者会の開催は検討していきたいと思います。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	19	8	0	4	苦情を出すようなことがない。その機会がありません。	日々保護者さまよりご意見をいただきありがとうございます。ご不明な点がございましたらこれまで同様お声かけお願いいたします。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	25	2	0	3		子どもたちの成長に合わせて対応に変化を持たせていますが、気になることがありましたらいつでもお声かけください。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	31	0	0	0		ホームページのブログを毎週水曜日に更新しています。連絡帳や面談でもお伝えしていますがご覧いただければと思います。
14 個人情報に十分注意しているか	24	1	0	6	特に問題ない。	ご利用開始時に詳細をお伺いしています。引き続き注意していきます。	
常時 等の 対	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	21	4	1	5		保護者さまへのご伝達が十分ではないため、おたより等で案内していきます。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	22	2	1	6	覚えていないかもしれない。	保護者さまへのご伝達が十分ではないため、おたより等で案内していきます。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	27	3	0	1	疲れているときなどその日より変わる。	体調がすぐれないときや、気になる言動がある場合は利用前にお伝えください。
	18 事業所の支援に満足しているか	29	2	0	0	助かっている。個別の対応も、相談して解決してくれているのでありがたい。これからも安心して通える場所であってほしい。	まだ不十分などところがあるかもしれませんが。気づいたことがあれば、これまで同様、ご相談ください。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上で留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせる実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和元年7月8日

事業所名 さくらくらぶ北野田

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	児童の動線に合わせて、机やパーテーションを使用している。	建物のレイアウト上狭く感じるため、今後も児童の動きに合わせてレイアウトを変更していく。
	2	職員の配置数は適切である	1	4	利用児童に合わせたシフト作成を行っている。	男性スタッフが多く、女児支援時のシフト作成に手間取っている。女性スタッフの充足を現在進行している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	5	0	バリアフリーになっており、廊下・トイレには手すりが設置されている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	0		全員参画しているが、各人の積極性、主体性を伸ばす必要がある。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	保護者の意見を参考に見直しができるので、とてもありがたい。	今後も継続していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1	毎年保護者にアンケートを配布し、ホームページに掲載している。	今後も継続していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1	法人内の他事業所管理者による業務改善に向けた評価を行っている。	外部評価については今後の検討課題。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	外部講師による研修や外部研修への参加を促している。	今後も継続していく。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	両親ともに働きに行かれているご家庭や諸事情により日中時間をとることが難しくなっているため、早め早めに声をかけ時間をとってもらおうよう工夫している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0		ツールの変更については随時検討する。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1	担当者を決め、担当者を中心に活動内容を決めている。	担当者任せになってしまうこともあるため支援開始、終了時の時間を使いすぎる。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	季節や情勢に合わせたイベントや外出を行っている。	今後も季節や社会の出来事を題材に活動内容を変化させ、児童の意見も取り入れながらすすめていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	0	活動時間が長い時は児童の意見を取り入れている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	複数人数での制作活動がメインになるが、個々の発達に合わせた制作過程を踏んでいる。	保護者の意向も組みながら、都度対応していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	開始時に朝礼を行い、前日の引継ぎ事項等確認し、当日利用児童の配慮点等を確認している。	今後も継続していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	終了時に終礼を行い、翌日への引継ぎ事項に不備がないようにしている。	今後も継続していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	利用児童、時間、活動の様子及び伝達事項を日報に記入し、全員が確認している。	今後も継続していく。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	半年毎に懇談を行っているが、子どもの状況により、随時計画の見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っている	5	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0		相談支援事業所発信の担当者会議へは、確実に参画出来ているが、小さな問題提起を共有することが難しく、事業所からの発信も積極的に行っていく。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5	0	直接連絡を取らせて頂いている 学校との関係は良好。 とてもありがたく感じている。	直接連絡を取ることが出来ず、保護者経由での対応をされる学校がある。学校の業務量を考えると難しい所ではあると思うが、子どもの支援について共有出来るようになってほしい。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	5		該当児童なし。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	4	保護者より詳細をお伺いしている。	ご依頼があれば、いつでも共有したい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5	0	保護者への伝達を行っている。	卒業後、移行するサービスからの依頼があれば、いつでも共有できる。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	4	1	地域行事への参加をしている。	障がいを持たない団体との交流は、双方の理解がないと難しいため、行っていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	1		堺市放課後連絡会への参加を継続。 自立支援協議会の児童分野が出来ることを期待している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	連絡帳に文章では伝わりにくい子どもの表情等を簡易な写真を添付して補っている。	連絡帳の写真は今後も継続。 利用の前日にはお電話もしくはメール等で時間や子どもの状態を確認したく、保護者に連絡を取らせてもらっている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	0		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	見学から契約までに詳細を出来る限りお伝えしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	可能な限り、連絡を取ることが出来るよう配慮している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	1	年に2～3回、保護者も参加出来る研修会を開いている。	今後保護者の意見を参考に保護者会の開催は検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	日頃から保護者の意見を頂き、ありがたく感じている。今後も伺った意見について漏れることなく引き継ぎ、改善に向けていく。	今後も継続していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	毎月、翌月の予定、伝達事項、活動の様子を入れたおたよりを発行。それ以外にも、ホームページにてブログを毎週水曜日に更新している。	今後も継続していく。
	35	個人情報に十分注意している	5	0	契約時にどこまで公開しているか書面にて確認をとっている。	定期的に公開の制限の表を見直し、漏れがないよう今後も確認していく。

	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	子どもたちの成長に合わせて対応に変化を持たせている。	保護者の意向も組みながら、都度対応していく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5		障がいに対する理解を求めることが難しく行っていない。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0		職員への周知徹底は済んでいるが、保護者への伝達が不十分な点があり、おたより等で周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0		今後も継続していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0		今後も継続していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0	現在該当児童がいないが、身体拘束を行う場合の対応については理解している。	強度行動障害の研修等を受講し理解を深めていく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	医師と直接連絡を取ることではなく保護者にかかりつけ医や、アレルギーの有無について聞き取りを	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	毎日記入する日報に、ひやりとした瞬間を記入し、全員確認している。	今後も継続していく。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和元年7月8日

事業所名 さくらくらぶ北野田 保護者等数（児童数） 26 回収数 21 割合 80 %

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13	4	4	0	利用人数が多い時は狭く感じる。狭いと思うが工夫していると思う。部屋は小さめだと思う。	有効スペースをフルに活用して活動に取り組みたいと考えています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	12	5	0	4		研修会への参加や外部講師による講義を行い、スキルアップに努めています。利用児童に合わせてスタッフの増員を検討したいと思います。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	1	0	11		完全バリアフリーの構造で廊下やトイレには手すりが設置されています。若干手狭に感じる間取りであるため、児童の動線や成長に合わせてレイアウトを変更していきたいと思います。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	19	2	0	0		懇談時にはいつもご協力いただきありがとうございます。引き続き児童の発達に応じた支援を行っていききたいと思います。お気づきの点がございましたらいつでもお知らせください。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	18	3	0	0	外出イベントはありがたい。工作も好きみたい。	今後も季節や大きな出来事を題材に活動内容を変化させ、児童の意見も取り入れずめしていきたいと思います。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	5	4	5	7		なかなか難しい所ですが、地域行事等への参加をしながらすすめていきたいと思っています。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21	0	0	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができてきているか	21	0	0	0	文章だけでなく写真での様子はとても嬉しい。写真入りの連絡帳がいい。	連絡帳の写真は今後も続けます。利用の前日にはお電話もしくはメール等で時間やお子さまの状態をお伺いしていますが、引き続きご協力お願いいたします。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	19	2	0	0	忙しくて行けずみません。	特にご利用時には当日の状況を詳しくお伝えできるよう工夫していきます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	4	7	3	あるけど遠いため行きにくい。	今後保護者様の意見を参考に保護者会の開催は検討していきたいと思ます。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15	4	1	1	いつもよくして頂いているので苦情や意見がない。	日々保護者さまよりご意見をいただきありがとうございます。ご不明な点がございましたらこれまで同様お声かけお願いいたします。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	16	3	0	1		子どもたちの成長に合わせて対応に変化を持たせていますが、気になることがありましたらいつでもお声かけください。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	19	1	0	1		ホームページのブログを毎週水曜日に更新しています。連絡帳や面談でもお伝えしていますがご覧いただければと思います。
14 個人情報に十分注意しているか	18	0	0	3		ご利用開始時に詳細をお伺いしています。引き続き注意していきます。	
常時等の対	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	11	1	1	8		保護者さまへのご伝達が十分ではないため、おたより等で案内していきます。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14	1	4	2	聞いたことがある。	保護者さまへのご伝達が十分ではないため、おたより等で案内していきます。
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	18	1	1	1	外出等のイベントには行きたがるが嫌がることもある。	体調がすぐれないときや、気になる言動がある場合は利用前にお伝えください。
	18 事業所の支援に満足しているか	20	1	0	0		まだ不十分ところがあるかもしれませんが、気づいたことがあれば、これまで同様、ご相談ください。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和元年7月8日

事業所名 さくらくらぶ北野田

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	児童の動線に合わせて、机やパーテーションを使用している。	建物のレイアウト上狭く感じるため、今後も児童の動きに合わせてレイアウトを変更し
	2	職員の配置数は適切である	1	4	利用児童に合わせたシフト作成を行っている。	男性スタッフが多く、女児支援時のシフト作成に手間取っている。女性スタッフの充足を現在進行している。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	0	バリアフリーになっており、廊下・トイレには手すりが設置されている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	0		全員参画しているが、各人の積極性、主体性を伸ばす必要がある。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	保護者の意見を参考に直しが出来るので、とてもありがたい。	今後も継続していく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で	4	1	毎年保護者にアンケートを配布し、ホームページに掲載している。	今後も継続していく。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1	法人内の他事業所管理者による業務改善に向けた評価を行っている。	外部評価については今後の検討課題。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	外部講師による研修や外部研修への参加を促している。	今後も継続していく。
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0	両親ともに働きに行かれているご家庭や諸事情により日中時間をとることが難しくなってきたため、早め早めに声をかけ時間を	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0		ツールの変更については随時検討する。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0		引き続き児童の発達に応じた支援を行っていき保護者と共通理解を持っていく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1	担当者を決め、担当者を中心に活動内容を決めている。	担当者任せになってしまうこともあるため支援開始、終了時の時間を使いすぎる。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	季節や情勢に合わせたイベントや外出を行っている。	今後も季節や社会の出来事を題材に活動内容を変化させ、児童の意見も取り入れながらすすめていく。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	0	複数人数での制作活動がメインになるが、個々の発達に合わせた制作過程を踏んでいる。	保護者の意向も組みながら、都度対応していく。
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	開始時に朝礼を行い、前日の引継ぎ事項等確認し、当日利用児童の配慮点等を確認している。	今後も継続していく。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	終了時に終礼を行い、翌日への引継ぎ事項に不備がないようにしている。	今後も継続していく。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	利用児童、時間、活動の様子及び伝達事項を日報に記入し、全員が確認している。	今後も継続していく。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	半年毎に懇談を行っているが、子どもの状況により、随時計画の見直しを行っている。	両親ともに働きに行かれているご家庭や諸事情により日中時間をとることが難しくなってきたため、早め早めに声をかけ時間をとってもらおうよう工夫していく。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0		相談支援事業所発信の担当者会議へは、確実に参画出来ているが、小さな問題提起を共有することが難しく、事業所からの発信も積極的に行っている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	2	現在進行しているケースはないが、困難ケースの場合はこまめに連絡を取り合い対応している。	相談支援員がついていることが多くなってきているため、連携はとりやすくなってきている。相談支援員がいない場合は、連携を取りやすくするために相談員をつけるよう案内している。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1		直接連絡を取ることはなく、保護者や相談支援員より状況を聞いている。今後、必要に応じて連絡が取れるようになってほしい。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	1	直接連絡を取らせて頂いている 学校との関係は良好。 とてもありがたく感じている。	直接連絡を取ることが出来ず、保護者経由での対応をされる学校がある。学校の業務量を考えると難しい所ではあると思うが、子どもの支援について共有出来るようになってほしい。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2		児童発達支援の児童が少ないこともあり、保護者と情報を共有することで完結している。今後は必要に応じて連絡をとる。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	1	地域行事への参加をしている。	障がいを持たない団体との交流は、双方の理解がないと難しいため、行っていない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	1		堺市放課後連絡会への参加を継続。 自立支援協議会の児童分野が出来ることを期待している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	連絡帳に文章では伝わりにくい子どもの表情等を簡易な写真を添付して補っている。	連絡帳の写真は今後も継続。 利用の前日にはお電話もしくはメール等で時間や子どもの状態を確認したく、保護者に連絡を取らせてもらっている。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	0			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	見学から契約までに詳細を出来る限りお伝えしている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0		引き続き児童の発達に応じた支援を行っていき保護者と共通理解を持っていく。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	可能な限り、連絡を取ることが出来るよう配慮している。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	1	年に2～3回、保護者も参加出来る研修会を開いている。	今後保護者の意見を参考に保護者会の開催は検討していきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	日頃から保護者の意見を頂き、ありがたく感じている。今後も伺った意見について漏れることなく引き継ぎ、改善に向けていく。	今後も継続していく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	毎月、翌月の予定、伝達事項、活動の様子を入れたおたよりを発行。それ以外にも、ホームページにてブログを毎週水曜日に更新している。	今後も継続していく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0	契約時にどこまで公開しているか書面にて確認をとっている。	定期的に公開の制限の表を見直し、漏れないよう今後も確認していく。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	子どもたちの成長に合わせて対応に変化を持たせている。	保護者の意向も組みながら、都度対応していく。
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	5		障がいに対する理解を求めることが難しく行っていない。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	0		職員への周知徹底は済んでいるが、保護者への伝達が不十分な点があり、おたより等で周知していく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0		今後も継続していく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	0	契約時に確認を行い、投薬の変更や定期通院の結果等について都度保護者より連絡を頂き、共通認識を持って対応している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	医師と直接連絡を取ることではなく保護者にかかりつけ医や、アレルギーの有無について聞き取りを行っている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	毎日記入する日報に、ひやりとした瞬間を記入し、全員確認している。	今後も継続していく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5	0	現在該当児童がいないが、身体拘束を行う場合の対応については理解している。	強度行動障害の研修等を受講し理解を深めていく。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

事業所名 さくらくらぶ北野田

保護者等数（児童数）

4

回収数

3

割合

75 %

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	2	0	1	0	もう少し広いとよいが、難しいと思う	有効スペースをフルに活かして活動に取り組みたいと考えています。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	1	0	0	2		利用児童に合わせてスタッフ数の増員を検討しています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	0	1	0	紙パンツを使用しているお子さんにはベットの必要かと思う	スペース的にベットの設置は難しいですが、レールカーテンや間仕切り、個室を利用し工夫していききたいと思います。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	2	0	1	0		若干手狭に感じる間取りであるため、児童の動線や成長に合わせたレイアウトに随時変更して対応していききたいと思います。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	3	0	0	0		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	0	0	0		引き続き児童の発達に応じた支援を行っていききたいと思います。 お気づきの点がありましたら、いつでもお知らせください。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	3	0	0	0		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	1	0	0	2		季節や大きな出来事を題材に活動内容を変化させ、児童の意見を取り入れたりしながらすすめていききたいと思います。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	0	0	3	これは相手側の理解も必要になるので難しいと思います。	なかなか難しい所ですが、地域行事等への参加からつなげていきたいと思っています。
適切な 支援の 提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	3	0	0	0	利用料を銀行振込にしてほしい。	申し訳ございません。引落や銀行振込にすると、振込手数料が利用料より高額になる方が多く導入に足踏みしています。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	3	0	0	0		
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニングiv等）が行われている	2	0	0	1		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができてきているか	3	0	0	0	写真入りの連絡帳が特に気に入っており、安心してしています。	連絡帳の写真は今後も継続します。 利用の前日にはお電話もしくはメール等で時間等の確認をさせて頂いていますが、引き続きご協力お願いいたします。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	0	0	0	3		懇談にはいつもお越しくださりありがとうございます。日々、もう少しゆっくり話ができるよう工夫していききたいと思います。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
保 護 者	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	0	2	0	1		今後保護者さまの意見を参考に前向きに検討していきたいと思えます。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	3	0	0	0		
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	3	0	0	0		
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	3	0	0	0		ホームページのブログを毎週水曜日更新しています。日頃の活動や行事の様子をお伝えしています。
	19 個人情報の取扱いに十分注意されている	3	0	0	0		
非 常 時 等 の 対 応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	1	0	0	2		保護者さまへのご伝達が十分ではないため、今後はおたより等でお伝えしていきます。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	1	0	0	2		保護者さまへのご伝達が十分ではないため、今後はおたより等でお伝えしていきます。
満 足 度	22 子どもは通所を楽しみにしている	3	0	0	0		
	23 事業所の支援に満足している	3	0	0	0		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和元年7月8日

事業所名 さくらくらぶ向陽台

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	広いスペースを部屋の中央で整理棚を使用して、空間を仕切っている。	
	2	職員の配置数は適切である	4	1	配置基準は満たされているが、同時刻の学校迎えの際には、時間の調整を行っている。 学校側の配慮をありがたく感じている。	利用児童の下校時刻や帰宅時間の変更にあわせて都度シフトの変更を行っている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1	玄関前に数段の階段があるため、昇降時はスタッフが後ろもしくは横についている。	建物の構造上変更が出来ないため、安全に昇降できるよう注意する。トイレ前の段差にも注意している。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	0		全員参画しているが、各人の積極性、主体性を伸ばす必要がある。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	保護者の意見を参考に見直しができるので、とてもありがたい。	今後も継続していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	毎年保護者にアンケートを配布し、ホームページに掲載している。	今後も継続していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2	法人内の他事業所管理者による業務改善に向けた評価を行っている。	外部評価については今後の検討課題。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	外部講師による研修や外部研修への参加を促している。	研修への参加は出来るようになっているがまだ各人の専門性を伸ばす必要がある。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	忙しい中保護者に時間をとってもらい、意向確認を行っている。	両親ともに働きに行かれているご家庭や諸事情により日中時間をとることが難しくなってきたため、早め早めに声をかけ時間をとってもらおうよう工夫していく必要がある。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0		ツールの変更については随時検討する。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	担当を決め、担当者を中心に内容を変化させている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1	季節や情勢に合わせたイベントや外出を行っている。	今後も季節や社会の出来事を題材に活動内容を変化させ、児童の意見も取り入れながらすすめていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	1	活動時間の長短により、制作活動の内容を決めている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	複数人数での制作活動がメインになるが、個々の発達に合わせた制作過程を踏んでいる。	保護者の意向も組みながら、都度対応していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	開始時に朝礼を行い、前日の引継ぎ事項等確認し、当日利用児童の配慮点等を確認している。	今後も継続していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	終了時に終礼を行い、翌日への引継ぎ事項に不備がないようにしている。	今後も継続していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	利用児童、時間、活動の様子及び伝達事項を日報に記入し、全員が確認している。	今後も継続していく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	半年毎に懇談を行っているが、子どもの状況により、随時計画の見直しを行っている。	両親ともに働きに行かれているご家庭や諸事情により日中時間をとることが難しくなってきたため、早め早めに声をかけ時間をとってもらおうよう工夫していく。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	5	0		

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0		相談支援事業所発信の担当者会議へは、確実に参画出来ている。 相談支援事業所が少ないため、ほぼ行われていないのが現状。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	4	1	障がい児通所支援事業所への理解の深い学校が多いため連携がとりやすい。	今後も学校からの伝達事項や児童の様子について、随時共有していく。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	1	直接連絡を取り合うことはあまりないが、保護者より詳細をお伺いし、必要な場合のみ連絡を入れている。	ご依頼があれば、いつでも共有したい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	4	1	卒業生の送り出しの実績がほとんどないため、卒業後のサービス事業所へ連絡を入れたことはないが、保護者へは、放課後等デイサービスでの支援の内容等まとめて提供しよう話をしている。	ご依頼があれば、いつでも共有したい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	3	地域行事への参加をしている。	障がいを持たない団体との交流は、双方の理解がないと難しいため、行っていない。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	5	0	主催の研修等には可能な限り参加している。	協議会からの案内の研修等に多く参加できるようシフトの調整を行う。 また、放課後等デイサービス連携委員が発足し参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている	5	0	連絡帳に文章では伝わりにくい子どもの表情等を簡易な写真を添付して補っている。	連絡帳の写真は今後も継続。 利用の前日にはお電話もしくはメール等で時間や子どもの状態を確認したく、保護者に連絡を取らせてもらっている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	1		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	見学から契約までに詳細を出来る限りお伝えしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	可能な限り、連絡を取ることが出来るよう配慮している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3	年に2～3回、保護者も参加出来る研修会を開いている。	保護者参加の研修会の回数を増やしていきたい。また、保護者の意見を参考に保護者会の開催は検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	保護者からの依頼事項について漏れることなく引き継がれるよう全員で共有している。	今後も継続していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	毎月、翌月の予定、伝達事項、活動の様子を入れたおたよりを発行。それ以外にも、ホームページにてブログを毎週水曜日に更新している。	今後も継続していく。
	35	個人情報に十分注意している	5	0	契約時にどこまで公開しているか書面にて確認をとっている。	定期的に公開の制限の表を見直し、漏れないよう今後も確認していく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	子どもたちの成長に合わせて対応に変化を持たせている。	保護者の意向も組みながら、都度対応していく。

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4		障がいに対する理解を求めることが難しく行っていないが、制作活動時の作品の展示会等行えないか検討している。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0		職員への周知徹底は済んでいるが、保護者への伝達が不十分な点があり、おたより等で周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0		今後も継続していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0		今後も継続していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	1	現在該当児童がいないが、身体拘束を行う場合の対応については理解している。	より理解を深めるため、強度行動障害等を受講していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1	医師と直接連絡を取ることではなく保護者にかかりつけ医や、アレルギーの有無について聞き取りを行っている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	毎日記入する日報に、ひやりとした瞬間を記入し、全員確認している。	今後も継続していく。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和元年7月8日

事業所名 さくらくらぶ向陽台 保護者等数（児童数） 14 回収数 12 割合 85.7 %

	チェック項目	はい				いいえ				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	11	1	0	0					広めのスペースなので、仕切り等をして児童が安全かつ、わかりやすい配置にしています。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	6	3	0	2	もう少し多くてもありかな。				研修会への参加や外部講師による講義を行い、スキルアップに努めています。利用児童に合わせてスタッフの増員を検討したいと思います。	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	3	0	2	建物の構造上仕方ない部分もあるが、部屋の中は安全と思う。				玄関前に数段の階段があります。手すりはついていますが、昇降時にはスタッフが後ろもしくは横についています。	
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	12	0	0	0					懇談時にはいつもご協力いただきありがとうございます。引き続き児童の発達に応じた支援を行っていききたいと思います。お気づきの点がございましたらいつでもお知らせください。	
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	11	0	0	1					今後も季節や大きな出来事を題材に活動内容を変化させ、児童の意見も取り入れすすめていききたいと思います。	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	1	5	4					なかなか難しい所ですが、地域行事等への参加をしながらすすめていききたいと思います。	
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	0	0	0						
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12	0	0	0					連絡帳の写真は今後も継続します。利用の前日にはお電話もしくはメール等で時間やお子さまの状態をお伺いしていますが、引き続きご協力お願いいたします。	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	0	0	0					特にご利用時には当日の状況を詳しくお伝えできるよう工夫していきます。	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	0	7	2	学期毎に集える機会があると嬉しい。				今後保護者様の意見を参考に保護者会の開催は検討していききたいと思います。	
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	1	0	1					日々保護者さまよりご意見をいただきありがとうございます。ご不明点がありましたらこれまで同様お声かけお願いいたします。	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	10	1	0	1					子どもたちの成長に合わせて対応に変化を持たせていますが、気になることがありましたらいつでもお声かけください。	
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	0	0	1					毎月おたよりを発行していますが、それ以外にも、ホームページにてブログを毎週水曜日に更新しています。連絡帳や面談でもお伝えしていますがご覧いただければと思います。	
14 個人情報に十分注意しているか	11	0	0	1					ご利用開始時に詳細をお伺いしています。引き続き注意していきます。		
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	11	0	1	0					保護者さまへのご伝達が十分ではないため、おたより等で案内していきます。	
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	11	0	3	1					保護者さまへのご伝達が十分ではないため、おたより等で案内していきます。	
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	12	0	0	0					それぞれの発達に合わせて、これからもいろいろな活動を行っていききたいと思います。	
	18 事業所の支援に満足しているか	11	1	0	0	送迎時のシートベルト、ドアの開閉が気になることがある。シートベルトを嫌がる子どももいるが、しているしていない時の違いがあると思う。				シートベルトを外してしまう児童は多数います。その都度対応していきます。ドアの開閉についても児童が座ったことを確認して行っていますが、急いでしまうこともあり、時間に余裕を持たせたいと思います。	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和元年7月8日

事業所名 さくらくらぶ向陽台

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	0	部屋の中央に整理棚を置き、空間を区切っている	
	2	職員の配置数は適切である	3	2	配置基準は満たされており、利用児童に合わせたシフト作成を行っている。	利用児童数に合わせてスタッフの増員を検討していく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	1	イラストを使用したり、整理棚で空間を区切る等視覚的に見やすくしている。	今後も児童の発達に合わせて変化させる。 玄関前に数段の階段があるため、昇降時スタッフが後ろもしくは横についている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	1		今後も児童の発達に合わせて変化させる。
業務 改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4	1		全員参画しているが、各人の積極性、主体性を伸ばす必要がある。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	保護者の意見を参考に見直しができるので、とてもありがたい。	今後も継続していく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	毎年保護者にアンケートを配布し、ホームページに掲載している。	今後も継続していく。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2	法人内の他事業所管理者による業務改善に向けた評価を行っている。	外部評価については今後の検討課題。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	外部講師による研修や外部研修への参加を促している。	今後も継続していく。
適切な 支援の 提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0	両親ともに働きに行かれていらっしゃるご家庭や諸事情により日中時間をとることが難しくなっているため、早め早めに声をかけ時間をとってもら	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1		ツールの変更については随時検討する。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5	0		引き続き児童の発達に応じた支援を行っていき保護者と共通理解を持っていく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	担当者を決め、担当者を中心に活動内容を決めている。	担当者任せになってしまうこともあるため支援開始、終了時の時間を使いすぎる。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	季節や情勢に合わせたイベントや外出を行っている。	今後も季節や社会の出来事を題材に活動内容を変化させ、児童の意見も取り入れながらすすめていく。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	0	複数人数での制作活動がメインになるが、個々の発達に合わせた制作過程を踏んでいる。	保護者の意向も組みながら、都度対応していく。
17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	開始時に朝礼を行い、前日の引継ぎ事項等確認し、当日利用児童の配慮点等を確認している。	今後も継続していく。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1	終了時に終礼を行い、翌日への引継ぎ事項に不備がないようにしている。	今後も継続していく。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	利用児童、時間、活動の様子及び伝達事項を日報に記入し、全員が確認している。	今後も継続していく。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	半年毎に懇談を行っているが、子どもの状況により、随時計画の見直しを行っている。	今後も、年度の変わり目には特に注意を払い、保護者の意向をくみながら計画の見直しを進める。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	1		相談支援事業所発信の担当者会議へは、確実に参画出来ているが、小さな問題提起を共有することが難しく、事業所からの発信も積極的に行っている。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	3	2	現在進行しているケースはないが、困難ケースの場合はこまめに連絡を取り合い対応している。	相談支援員がついていることが多くなってきているため、連携はとりやすくなってきている。相談支援員がついていない場合は、連携を取りやすくするために相談員をつけるよう案内している。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	2		直接連絡を取ることはなく、保護者や相談支援員より状況を聞いている。今後、必要に応じて連絡が取れるようになってほしい。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	2	直接連絡を取らせて頂いている 学校との関係は良好。 とてもありがたく感じている。	直接連絡を取ることが出来ず、保護者経由での対応をされる学校がある。学校の業務量を考えると難しい所ではあると思うが、子どもの支援について共有出来るようになってほしい。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2		児童発達支援の児童が少ないこともあり、保護者と情報を共有することで完結している。今後は必要に応じて連絡をとる。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	5	地域行事への参加をしている。	障がいを持たない団体との交流は、双方の理解がないと難しいため、行っていない。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	3	主催の研修には可能な限り参加している。	協議会からの案内の研修に多く参加できるようシフトの調整を行っている。 放課後等デイサービス連携委員が発足し参加。今後も継続していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	連絡帳に文章では伝わりにくい子どもの表情等を簡易な写真を添付して補っている。	連絡帳の写真は今後も継続。 利用の前日にはお電話もしくはメール等で時間や子どもの状態を確認したく、保護者に連絡を取らせてもらっている。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	5	0			
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	見学から契約までに詳細を出来る限りお伝えしている。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0		引き続き児童の発達に応じた支援を行っていき保護者と共通理解を持っていく。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	可能な限り、連絡を取ることが出来るよう配慮している。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	3	年に2～3回、保護者も参加出来る研修会を開いている。	保護者参加の研修会の回数を増やしていく。また、保護者の意見を参考に保護者会の開催は検討していきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	日頃から保護者の意見を頂き、ありがたく感じている。今後も伺った意見について漏れることなく引き継ぎ、改善に向けていく。	今後も継続していく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	毎月、翌月の予定、伝達事項、活動の様子を入れたおたよりを発行。それ以外にも、ホームページにてブログを毎週水曜日に更新している。	今後も継続していく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0	契約時にどこまで公開しているか書面にて確認をとっている。	定期的に公開の制限の表を見直し、漏れがないよう今後も確認していく。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	子どもたちの成長に合わせて対応に変化を持たせている。	保護者の意向も組みながら、都度対応していく。
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	4		障がいに対する理解を求めることが難しく行っていないが、制作活動の工作の展示会等が行えないか検討中。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	0		職員への周知徹底は済んでいるが、保護者への伝達が不十分な点があり、おたより等で周知していく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0		今後も継続していく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	5	0	契約時に確認を行い、投薬の変更や定期通院の結果等について都度保護者より連絡を頂き、共通認識を持って対応している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	医師と直接連絡を取ることはなく保護者にかかりつけ医や、アレルギーの有無について聞き取りを行っている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	毎日記入する日報に、ひやりとした瞬間を記入し、全員確認している。	今後も継続していく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0		年3回行っており、今後も継続する。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	2	現在該当児童がいないが、身体拘束を行う場合の対応については理解している。	強度行動障害の研修等を受講し理解を深めていく。

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

事業所名 さくらくらぶ向陽台

保護者等数（児童数） 7 回収数 6 割合 86 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない		いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	6	0	0	0		
	2	職員の配置数や専門性は適切である	2	1	0	3		利用児童に合わせてスタッフ数の増員を検討しています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5	0	0	1		荷物置き場やおもちゃの収納方法等、児童の発達に合わせて、わかりやすく工夫しています。玄関前に階段が数段あるので、注意しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5	0	0	1		特に水周りは消毒等行い、清潔に保つことが出来るようにしています。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	6	0	0	0		
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	0	0	0		引き続き児童の発達に応じた支援を行っていきたいと思います。お気づきの点がありましたら、いつでもお知らせください。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6	0	0	0		
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	5	1	0	0		季節や大きな出来事を題材に活動内容を変化させ、児童の意見を取り入れたりしながらすすめていきたいと思っています。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	1	2	3		双方の意見が一致しないと、なかなか難しい所ですが、地域行事等への参加からつなげていきたいと思っています。
適切な 支援の 提供	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	6	0	0	0		
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	6	0	0	0		
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われている	1	0	1	4		
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	6	0	0	0		
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	5	1	0	0		懇談にはいつもお越しくださりありがとうございます。日々、もう少しゆっくり話ができるよう工夫していきたいと思っています。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	1	0	2	3		今後保護者さまの意見を参考に前向きに検討していきたいと思っています。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	5	1	0	0		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	6	0	0	0		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	4	1	0	1		毎月のおたより以外に、ホームページのブログを毎週水曜日更新しています。日頃の活動や行事の様子をお伝えしています。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	3	0	0	3		ご契約時に確認させて頂いています。気になることがあればいつでもお知らせください。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	2	1	0	3		保護者さまへのご伝達が十分ではないため、今後はおたより等でお伝えしていきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	1	1	1	3		保護者さまへのご伝達が十分ではないため、今後はおたより等でお伝えしていきます。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	6	0	0	0		
	23	事業所の支援に満足している	5	1	0	0	偏食がありおやつの持ち込み等、希望要望に対応して下さるので感謝している。	お気づきの点がありましたら、いつでもお知らせください。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和元年7月8日

事業所名 さくらくらぶ岸和田

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1	児童の動線に合わせて整理棚等のレイアウトを変えている。	梅雨時から夏にかけて1階部分で水遊びを行っているが、それ以外の有効利用を今後の課題としている。
	2	職員の配置数は適切である	4	1	保護者や学校に相談しながら時間の調整をしている。	利用児童の増加に合わせてスタッフ増員を行う。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	3	活動スペースが2階部分にあるため階段の昇降が安全に行うことができるよう細心の注意を払い、手すり、すべり止めを設置している。 2階部分はバリアフリーになっており安全かつ快適に過ごすことができる。	今後も階段の昇降時には細心の注意を払い手すりやすべり止めが劣化していないか確認を行う。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	0		全員参画しているが、各人の積極性、主体性を伸ばす必要がある。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	保護者の意見を参考に見直しができるので、とてもありがたい。	今後も継続していく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	毎年保護者にアンケートを配布し、ホームページに掲載している。	今後も継続していく。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1	法人内の他事業所管理者による業務改善に向けた評価を行っている。	外部評価については今後の検討課題。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	外部講師による研修や外部研修への参加を促している。	研修への参加は出来るようになってきているがまだ各人の専門性を伸ばす必要がある。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	忙しい中保護者に時間をとってもらい、意向確認を行っている。	両親ともに働きに行かれているご家庭や諸事情により日中時間をとることが難しくなってきたため、早め早めに声をかけ時間をとってもらうよう工夫していく必要がある。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0		ツールの変更については随時行う。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	担当者を決め、担当者を中心に内容を変化させている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	季節や情勢に合わせたイベントや外出を行っている。	今後も季節や社会の出来事を題材に活動内容を変化させ、児童の意見も取り入れながらすすめていく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	1	活動終了後には振り返りを行い、改善点がないか見直している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	0	複数人数での制作活動がメインになるが、個々の発達に合わせた制作過程を踏んでいる。	保護者の意向も組みながら、都度対応していく。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	開始時に朝礼を行い、前日の引継ぎ事項等確認し、当日利用児童の配慮点等を確認している。	今後も継続していく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	0	終了時に終礼を行い、翌日への引継ぎ事項に不備がないようにしている。	今後も継続していく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	利用児童、時間、活動の様子及び伝達事項を日報に記入し、全員が確認している。	今後も継続していく。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	半年毎に懇談を行っているが、子どもの状況により、随時計画の見直しを行っている。	両親ともに働きに行かれているご家庭や諸事情により日中時間をとることが難しくなってきたため、早め早めに声をかけ時間をとってもらうよう工夫していく。

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ て支援を行っている	5	0		
関係機 関や保 護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にそ の子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参 画している	5	0		担当者会議には必ず参画している。 岸和田市は相談支援事業所が多く、連携が とりやすいため、今後も継続して連携を とっていく。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交 換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送 迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に 行っている	5	0	保護者を窓口にされている学校もある が、関わらせて頂いている学校の ほとんどが、情報共有しやすく調整 もスムーズに行うことが出来てい る。	一部の学校ではあるが、一切事業所との関 係を持たないところもある。保護者より詳 細をお伺いすることが出来ているので問題 はないが、出来れば子どもの支援について 共有したい。しかし、現在の学校の多岐に わたる業務内容を考えると難しい所ある のではと感じる。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、 子どもの主治医等と連絡体制を整えている				
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こど も園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と 相互理解に努めている	3	2		ご依頼があれば、いつでも共有したい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から 障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それ までの支援内容等の情報を提供する等している	3	2	学校を卒業し、次のサービスへ 移行する児童の送り出しの実績 がほぼないため実践してい ないが、保護者と相談しながら情報 を提供していきたい。	ご依頼があれば、いつでも共有したい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター 等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	1		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいの ない子どもと活動する機会がある	3	2	地域行事への参加をしている。	障がいを持たない団体との交流は、双方の 理解がないと難しいため、行っていない。
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加してい る	4	1	相談支援等の連絡会に、可能な 限り参加し、情報を頂いている。	協議会等からの研修の案内は全て確認し、 可能な限り参加できるようシフトの調整を 行っていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ど もの発達の状況や課題について共通理解を持って いる	5	0	連絡帳に文章では伝わりにくい 子どもの表情等を簡易な写真を 添付して補っている。	連絡帳の写真は今後も継続。 利用の前日にはお電話もしくはメール等で 時間や子どもの状態を確認したく、保護者 に連絡を取らせてもらっている。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に 対してペアレント・トレーニング等の支援を行っ ている	5	0			
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	見学から契約までに詳細を出来る 限りお伝えしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切 に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	可能な限り、連絡を取ることが 出来るよう配慮している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催 する等により、保護者同士の連携を支援している	3	2	年に2～3回、保護者も参加出来る 研修会を開いている。	今後保護者の意見を参考に保護者会の開催 は検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制 を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、 苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	保護者からの依頼事項について 漏れることなく引き継がれるよう 全員で共有している。	今後も継続していく。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、 連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信 している	5	0	毎月、翌月の予定、伝達事項、活動 の様子を入れたおたよりを発行。そ れ以外にも、ホームページにてプロ グを毎週水曜日に更新している。	今後も継続していく。
	35	個人情報に十分注意している	5	0	契約時にどこまで公開して良い か書面にて確認をとっている。	定期的に公開の制限の表を見直し、漏れ がないよう今後も確認していく。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情 報伝達のための配慮をしている	5	0	子どもたちの成長に合わせて対応に 変化を持たせている。	保護者の意向も組みながら、都度対応して いく。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開か れた事業運営を図っている	2	3		障がいに対する理解を求めることが難しく 行っていない。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5	0		職員への周知徹底は済んでいるが、保護者への伝達が不十分な点があり、おたより等で周知していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0		今後も継続していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0		今後も継続していく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5	0	現在該当児童はいないが、身体拘束を行う場合の対応については理解している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	医師と直接連絡を取ることなく保護者にかかりつけ医や、アレルギーの有無について聞き取りを行っている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	毎日記入する日報に、ひやりとした瞬間を記入し、全員確認している。	今後も継続していく。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果（公表）

公表：令和元年7月8日

事業所名 さくらくらぶ岸和田 保護者等数（児童数） 19 回収数 19 割合 100 %

	チェック項目	はい				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	14	2	0	3	よくわからない。	1階部分の有効利用を今後の検討課題にしています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	7	2	0	10		研修会への参加や外部講師による講義を行い、スキルアップに努めています。利用児童に合わせてスタッフの増員を検討したいと思います。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	7	3	4	5	コンセントの配慮がありがたい。	活動スペースが2階になっています。階段の昇降については、細心の注意を払い、物理的には強度なすべり止めと手すりが設置されています。活動スペースに入ると完全バリアフリーになっています。引き続き階段部分の安全確保に努めます。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等サービス計画*1が作成されているか	17	0	0	2		懇談時にはいつもご協力いただきありがとうございます。引き続き児童の発達に応じた支援を行っていききたいと思います。お気づきの点がございましたらいつでもお知らせください。
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	16	0	0	3		今後も季節や大きな出来事を題材に活動内容を変化させ、児童の意見も取り入れすすめていききたいと思います。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	2	2	15		なかなか難しい所ですが、地域行事等への参加をしながらすすめていききたいと思います。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19	0	0	0		
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	18	1	0	0		利用の前日にはお電話もしくはメール等で時間やお子さまの状態をお伺いしていますが、引き続きご協力お願いいたします。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	18	0	0	1		特にご利用時には当日の状況を詳しくお伝えできるよう工夫していきます。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	0	7	12		今後保護者様の意見を参考に保護者会の開催を検討していききたいと思います。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	1	0	5		日々保護者さまよりご意見をいただきありがとうございます。ご不明な点がございましたらこれまで同様お声かけお願いいたします。
	12 子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	15	1	0	3		子どもたちの成長に合わせて対応に変化を持たせていますが、気になることがありましたらいつでもお声かけください。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	17	0	0	2		ホームページのブログを毎週水曜日に更新しています。連絡帳や面談でもお伝えしていますがご覧いただければと思います。
14 個人情報に十分注意しているか	16	0	0	3		ご利用開始時に詳細をお伺いしています。引き続き注意していきます。	
常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8	2	0	9		保護者さまへのご伝達が十分ではないため、おたより等で案内していきます。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9	0	1	9		保護者さまへのご伝達が十分ではないため、おたより等で案内していきます。
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	17	2	0	0	発語はないがスタッフの顔を見るとニコニコするので楽しみにしていると思う。	体調がすぐれないときや、気になる言動がある場合は利用前にお伝えください。
	18 事業所の支援に満足しているか	18	0	0	1	今後も送りの時間等相談させていただきます。	まだ不十分なところがあるかもしれませんが。気づいたことがあれば、これまで同様、ご相談ください。

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和元年7月8日

事業所名 さくらくらぶ岸和田

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	1	児童の動線に合わせて整理棚等のレイアウトを変更している。	梅雨時から夏にかけて1階部分で水遊び等行っているが、それ以外の有効活用を今後の課題としている。
	2	職員の配置数は適切である	4	1	保護者や学校と相談しながら時間の調整を行っている。	利用児童数に合わせてスタッフの増員を検討していく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	3	活動スペースが2階にあるため、階段の昇降が安全に出来るよう、手すり、すべり止めを設置し、細心の注意を払っている。 2階部分はバリアフリーになっており安全に過ごすことが出来る。	今後も階段昇降時には細心の注意を払い、手すりやすべり止めの劣化がないか確認を行う。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	1	整理整頓がスムーズにできるよう、イラストやひらがな表記した大きめの整理用箱を置いている。 日々の清掃を確実に行きチェックしている。また、トイレ等の水周りは終了後消毒を行っている。	
業務 改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5	0		全員参画しているが、各人の積極性、主体性を伸ばす必要がある。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5	0	保護者の意見を参考に見直し出来るので、とてもありがたい。	今後も継続していく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	0	毎年保護者にアンケートを配布し、ホームページに掲載している。	今後も継続していく。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	2	法人内の他事業所管理者による業務改善に向けた評価を行っている。	外部評価については今後の検討課題。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	外部講師による研修や外部研修への参加を促している。	今後も継続していく。
適切 な 支 援 の 提 供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5	0	忙しい中保護者に時間をとってもらい、意向確認を行っている。	両親ともに働きに行かれているご家庭や諸事情により日中時間をとることが難しくなっているため、早め早めに声をかけ時間をとってもらう必要がある。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	0		ツールの変更については随時検討する。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、	5	0		引き続き児童の発達に応じた支援を行っていき保護者と共通理解を持っていく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	担当者を決め、担当者を中心に活動内容を決めている。	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	季節や情勢に合わせたイベントや外出を行っている。	今後も季節や社会の出来事を題材に活動内容を変化させ、児童の意見も取り入れながらすすめていく。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5	0	複数人数での制作活動がメインになるが、個々の発達に合わせた制作過程を踏んでいる。	保護者の意向も組みながら、都度対応していく。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	開始時に朝礼を行い、前日の引継ぎ事項等確認し、当日利用児童の配慮点等を確認している。	今後も継続していく。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1	継ぎ事項に不備がないようにしている。	今後も継続していく。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	利用児童、時間、活動の様子及び伝達事項を日報に記入し、全員が確認している。	今後も継続していく。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5	0	毎月の振り返りを書面で行い、半年毎には必ず懇談を行っているが、子どもの状況により、随時計画の見直しを行っている。	今後も、年度の変わり目には特に注意を払い、保護者の意向をくみながら計画の見直しを進める。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0		担当者会議には必ず参画している。岸和田市は相談支援事業所が多く、とても連携がとりやすいため、今後も継続して連携をとっていく。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	0	現在進行しているケースはないが、困難ケースの場合はこまめに連絡を取り合い対応する。	相談支援事業所主体に各関係機関との連携が出来ているため、今後も継続していく。 児童が増えてきたためか、相談支援がついていないケースが極稀にあるが、役所に問い合わせると丁寧に対応してくれている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	2	週末の利用のみのため、直接園との接点はない。保護者より詳細をお伺いし園での様子を共有している。	直接連絡を取ることはなく、保護者や相談支援員と相談しながら、必要に応じて連絡をとっていく。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	2	保護者を窓口にされている学校もあるが、現在関わらせて頂いている学校の方が大半が理解をもって対応して下さいるので情報共有しやすい。	一部の学校で、一切事業所との関係を持たないところがあるも、保護者より詳細をお伺いすることが出来ているので問題はない。出来れば子どもの支援について共有したいが、現在の学校の多岐にわたる業務内容を鑑みると難しい所あるのではと感じる。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	5	0		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	5	地域行事への参加をしている。	障がいを持たない団体との交流は、双方の理解がないと難しいため、行っていない。
	29	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	1	相談支援等の連絡会に出来る限り参加し、市の情報を頂いている。	協議会からの案内の研修に多く参加できるようシフトの調整を行っている。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5	0	連絡帳に文章では伝わりにくい子どもの表情等を簡易な写真を添付して補っている。	連絡帳の写真は今後も継続。 利用の前日にはお電話もしくはメール等で時間や子どもの状態を確認したく、保護者に連絡を取らせてもらっている。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	5	0			
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	0	見学から契約までに詳細を出来る限りお伝えしている。		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	0		引き続き児童の発達に応じた支援を行っていき保護者と共通理解を持っていく。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	ご利用日に相談を受けることが多く、都度対応している。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	2	年に2～3回、保護者も参加出来る研修会を開いている。	保護者参加の研修会の回数を増やしていく。また、保護者の意見を参考に保護者会の開催は検討していきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5	0	日頃から保護者の意見を頂き、ありがたく感じている。今後も伺った意見について漏れることなく引き継ぎ、改善に向けていく。	今後も継続していく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5	0	毎月、翌月の予定、伝達事項、活動の様子を入れたおたよりを発行。それ以外にも、ホームページにてブログを毎週水曜日に更新している。	今後も継続していく。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5	0	契約時にどこまで公開しているか書面にて確認をとっている。	定期的に公開の制限の表を見直し、漏れないよう今後も確認していく。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5	0	子どもたちの成長に合わせて対応に変化を持たせている。	保護者の意向も組みながら、都度対応していく。
非常時等の対応	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	3		障がいに対する理解を求めることが難しく行っていないが、制作活動の工作の展示会等が行えないか検討中。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5	0		職員への周知徹底は済んでいるが、保護者への伝達が不十分な点があり、おたより等で周知していく。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	0		今後も継続していく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5	0	契約時に確認を行い、投薬の変更や定期通院の結果等について都度保護者より連絡を頂き、共通認識を持って対応している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5	0	医師と直接連絡を取ることではなく保護者にかかりつけ医や、アレルギーの有無について聞き取りを行っている。	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5	0	毎日記入する日報に、ひやりとした瞬間を記入し、全員確認している。	今後も継続していく。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5	0		年3回行っており、今後も継続する。
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	3	2	現在該当児童がいないが、身体拘束を行う場合の対応については理解している。	強度行動障害の研修等を受講し理解を深めていく。	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

事業所名 さくらくらぶ岸和田

保護者等数（児童数） 2 回収数 2 割合 100 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	1	1	0	0		1階部分の有効利用等今後の検討課題としています。
	2 職員の配置数や専門性は適切である	1	0	0	1		利用児童に合わせてスタッフ数の増員を検討しています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	2	0	0	0		活動スペースが2階にあるため、階段の昇降が安全に出来るよう、手すり、すべり止めを設置し、細心の注意を払っています。 2階部分はバリアフリーになっており安全に過ごすことが出来ています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	2	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	2	0	0	0		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	2	0	0	0		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	2	0	0	0		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	2	0	0	0		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	0	1	1		なかなか難しい所ですが、地域行事等への参加からつなげていきたいと思います。
適切な 支援の 提	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	2	0	0	0		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	2	0	0	0		
	12 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニングiv等）が行われている	0	0	1	1		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	2	0	0	0		
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	1	0	0	1		懇談にはいつもお越しくださりありがとうございます。日々、もう少しゆっくり話ができるよう工夫していきたいと思います。 今後保護者さまの意見を参考に前向きに検討していきたいと思っています。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	0	0	1	1		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
供	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	2	0	0	0		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	2	0	0	0		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	2	0	0	0		ホームページのブログを毎週水曜日更新しています。日頃の活動や行事の様子をお伝えしています。
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	2	0	0	0		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	1	1	0	0		保護者さまへのご伝達が十分ではないため、今後はおたより等でお伝えしていきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	1	0	0	1		保護者さまへのご伝達が十分ではないため、今後はおたより等でお伝えしていきます。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	2	0	0	0		
	23	事業所の支援に満足している	2	0	0	0		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。